

草間市民センターだより

発行
お問い合わせ先

草間市民センター
草間公民館
TEL 74 - 9001
FAX 74 - 9000

和紙を使ったうちわ作り教室

6月17日(土)、本年度最初の主催事業「和紙を使ったうちわ作り教室」を開催し、小学生を含む11名が参加しました。講師には、昨年の「風鈴作り」に続いて、神代和紙保存会の仲田紗らさんをお招きし、オリジナルなうちわづくりを楽しみました。

参加者は、いろいろな色に染められた和紙を選び、それぞれちぎり絵のように思い思いの形にちぎり、糊で貼り付けていました。小学生達も手際よく作業を進め、約1時間でそれぞれ個性豊かな作品を仕上げました。作品を互いに見せ合うなどして、満足感あふれる楽しい時間を過ごされました。暑い夏を癒してくれる涼しい風が流れていました。



ちぎった和紙を糊で丁寧に貼り付ける小学生



完成したうちわを見せ合う参加者

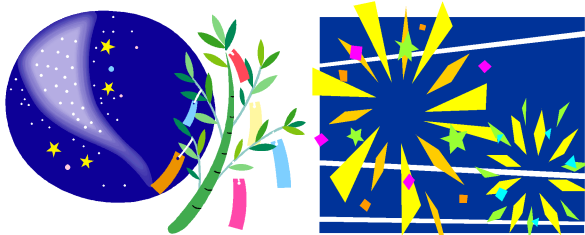
ウスイロヒヨウモンモドキの勉強会・観察会

6月10日(土)、土橋みらいの会(田井義明会長)みまもり部会(門和久部長)は、ウスイロヒヨウモンモドキの勉強会と観察会を行いました。土橋みらいの会では、絶滅危惧種に指定されている貴重なチョウであるウスイロヒヨウモンモドキの保護活動に長年地域を挙げて取り組んでいます。

この日土橋交流センターで開催された勉強会には、遠くは埼玉県や静岡県からの来場者も含め地区内外から約30名が参加されました。講師として、松尾秀行(日本チョウ類保全協会会員)さんと三宅誠二(日本鱗翅学会)さんをお招きし、今後の保護活動や人工繁殖について勉強をしました。その後参加者は、新屋地区の生息地に移動し、人工繁殖したウスイロヒヨウモンモドキの成虫を放しました。また、13日(火)には、草間台小学校の3・4年生7名が土橋地区で養殖に取り組みされている宗長堅吾さん宅を訪れ、ウスイロヒヨウモンモドキの勉強をし、観察を行いました。

～7月の行事予定～

- 1 (土) お出かけ市長室(足見)
- 7 (金) 新見南中学校ふれあい交流会
- 11 (火) 足見生き活き教室
- 12 (水) 愛育委員会
- 13 (木) ほがらか会
- 16 (日) 足見地区夏まつり
- 19 (水) 草間郵便局長杯GG大会【鞠】
- 21 (金) 草間いきいき健康アップ教室
放課後子ども教室【書道】
- 22 (土) ポーセラーツ教室【公民館主催】
(図柄を貼って焼く、オリジナルのマグカップ作り)
- 23 (日) 第39回草間もも直売まつり
復活2023(土橋交流センター)



～8月の行事予定～

- 10 (木) ほがらか会
- 13 (日) 草間ふれ愛納涼祭り
- 14 (月) 土橋ふれあい納涼大会
- 18 (金) 草間いきいき健康アップ教室
杜の教室(放課後子ども教室)
- 19 (土) 足見生き活き教室



試合前に整列した選手



力強いスイングで長打(対野さん)

★メンバー表★

- 1 対野 豊 (左)
- 2 杉 一郎 (右)
- 3 藤井伸男 (三)
- 4 藤井正文 (遊)
- 5 柏葉憲吾 (中)
- 6 藤野知幸 (投)
- 7 野手隆志 (二)
- 8 小林 保 (一)
- 9 佐藤厚則 (捕)
- 控 岡本邦尚 (右)
- 中山勇治 (投)
- 福水 真 (監督)
- 西村和夫 (館長)
- 川上比呂志(主事)

★スコアボード★

	1	2	3	計
唐松	8	0	6	14
草間	4	2	0	6

新見市壮年ソフトボール大会

6月11日(日)、まんさく運動公園グラウンドにおいて、新見市壮年ソフトボール大会が開催されました。久しぶりの大会ということもあり、参加者はソフトボールができる喜びを感じながら張りきってプレーをし、大きなかけ声や声援がグラウンド内に響き渡っていました。

草間チームは、管内の14名が参加し、唐松チームと対戦しました。打撃戦で点の取り合いになりましたが、惜しくも14対6で敗れてしまいました。参加された全員が、怪我をすることなく楽しくプレーし、心地よい汗を流されました。



地区内外から多くの参加があった勉強会



宗長堅吾さんの話を熱心に聞く3・4年生

ウスイロヒヨウモンモドキが食べる(餌)「カノコソウ」とその葉の裏に付いているタマゴや成虫の姿も見ることができました。児童達は、幼虫の姿で冬を越すことや、成虫になるまで1年かかることを教えていただき、感動していました。

アグリツーリズムの取り組み始める

草間カルスト里山の会(堀江利明会長)地域振興部(田本友広部長)は、草間の観光テーマである「アグリツーリズム」の取り組みの第一歩として、「かれんふえると」近くの畑に夏から秋の収穫に向けて野菜の苗を植えました。5月27日(土)早朝7時には、地域振興部や「カルスト山荘をなんとかしよう会」等のメンバー8人が、「かれんふえると」下の杉一郎さん提供の畑に集まり作業を行いました。植えたのは、サツマイモの苗100本、ピーマン(36本)、ナス(30本)、キャベツ(60本)、それに大根の種。夏からの収穫時には、かれんふえると宿泊者や農業体験ツアーの募集など、草間台地の新たな取り組みに発展することを期待されているとのこと。

さらにこの畑は、未だ作付け可能な部分が残っており(写真・奥の用地)、所有者の杉さんは、このアグリツーリズムの趣旨に賛同し、有効に使ってくれる人を探しておられます。



畝盛りとマルチ掛けをする参加者

ピーマンと茄子が植えられた畑

